はじめに

『2002年度第21回学生生活調査報告書』が刊行されました。昨年
から調査方法をWeb上で質問し回答してもらう形に改め、毎年実施する
ことにしました。

昨年度は9%台の回答率でしたが、今回は23%台に引き上げることが
できました。システム上回答時間に制限がありますので、質問項目を
減らしたり、回答を一時中断するときの処置等々、全問に回答しても
らうために幾つもの工夫をしました。回答率を引き上げていくためにさ
らに工夫を重ねていく必要があります。

学生の皆さんの意見・要望等はできるだけ大学の施策に反映させたい
と考えていますので、質問も大学の現状を踏まえたものを取り上げ
ることにし、今回は、大学のサービスやキャンパス内の禁煙問題等
を取り上げました。

この報告書は、今の早大生の全体像を浮き彫りにすることを主眼にお
いています。そのため、学部学生・大学院学生の中から無作為抽出した
1万人を調査対象とし、その結果を全体で処理していますので、学部・
研究科あるいは留学生・社会人学生ごとの調査にはなっていません。

誠実にアンケートに回答していただいた多くの学生に真っ先に感謝
したいと思います。また、葛山康典（第1章）、齋藤美穂（第2章）、川
村義則（第3章）、稲葉敏夫（第4章）、大藪泰（第5章）、大野高裕（第
6章）、鳥山恭一（まとめ）の先生方には分析・執筆に協力していただき
ました。また、職員の方々にも大変お世話になりました。厚くお礼
を申し上げます。

2002年10月21日

早稲田大学学生部
学生部長 紙屋敦之